

<今日の説教のポイント>

私たちの真の求めは自分の存在意義を知ってしっかりと人生の荒波を歩むことのできる指針と導きではないでしょうか。

そして教会とはそれを聖書に求め、イエス・キリストに従う者の集まりです。イエスは弟子たちに「命じておいたこと」を守るようすべての人に教えよ、と言われます。それは山上の垂訓と律法の要約にあらわされた愛です。

私は若い時に、イエスの教えを守れば世界平和が作れると思っていました。けれども罪ある人間には無理なのです。私たちはイエスにつながることでそこに向かっていけるようになるのです。

でもイエスはどこにいるのでしょうか。いつもあなたがたと共にいる、とおっしゃっています。私たちに今与えられた教会を通して、そして長きにわたる宣教を通して私たちに愛が注がれているのです。

<キスト岡崎さゆり先生のプロフィール>

アメリカ改革派教会 (Reformed Church in America) 牧師

日本キリスト教団協力宣教師、久が原教会担任教師(東京教区)

東京都出身、日本キリスト教会小山教会でヘッセリンク博士により受洗。立教大学大学院で組織神学を学んだ後、アメリカに留学。ミシガン州ホランド市にあるウェスタン神学大学院を卒業後、同級生だったエイブラハム・キストと結婚。エイブラハムの牧師就任に伴ってニューヨークに移り、ニューブランズウィック神学大学院で学ぶかたわら一男一女を出産。卒業後、エイブラハムと共に宣教師に任命され、アメリカ改革派教会より牧師按手を受け1995年来日。

日本基督教団に派遣され、東京教区南支区を拠点に全国の教会における礼拝担当、また教区集会などでの講演を通して伝道を励ます役割を担う。音楽と映像を多用した「現代的礼拝」、教会活性化の具体的プランニング「教会のヘルスチェック」など、伝道のためのさまざまな提案をしている。

日本基督教団での働きは、全国教会婦人会連合の常任委員、婦人教職問題研究委員会委員長、東日本大震災支援特設委員会委員長。

フェリス女学院理事、全国友の会(羽仁もと子創立)会員。キリスト教学校や友の会の繋がりから教会への橋渡しを願っている。